

平成30年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田万世会館	所在地	千代田区外神田一丁目1番7号
-----	---------	-----	----------------

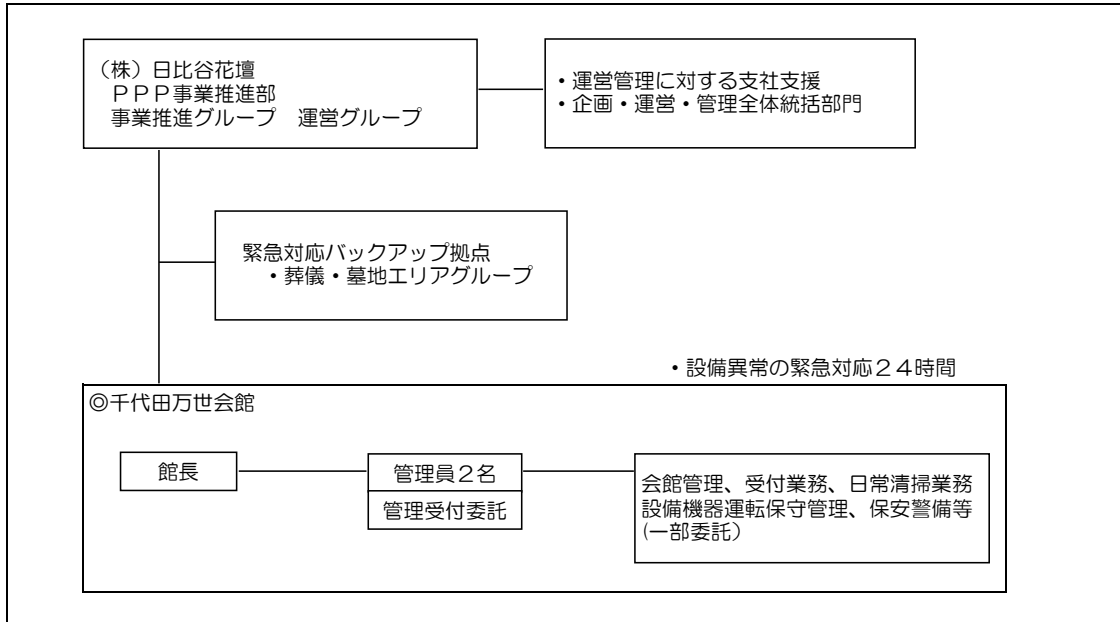
1 指定管理者の概要

名称	株式会社 日比谷花壇	代表者	代表取締役 宮島 浩彰
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号		
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	報告期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民に葬儀および法要の場を提供し、区民福祉の増進を図る。
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田万世会館の施設の利用承認等に関する業務 ・会館の保守及び維持管理に関する業務 ・会館の運営に関する業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

30年度	①葬儀利用 ※は、1日1組の葬儀とし 休館日を除いた日数	②遺体保管用冷蔵庫 ※は、1日2遺体利用とし 延べ日数	③会議・法要利用 ※は、休館日を除いた日 数
(A) 利用可能日数※	357日	730日	357日
利用件数	91件	51件	32件
(B) 利用日数	154日	248日	32日
利用率(B) / (A)	43.1%	34.0%	9.0%

※休館日：30年度は年始（1月1日・2日）及び毎月最終友引日の合計8日

【参考】過去3年間の実績	①葬儀利用		②遺体保管用冷蔵庫		③会議・法要利用
29年度 利用件数・利用日数	107件	173日	76件	339日	37件
28年度	101件	166日	61件	253日	39件
27年度	78件	134日	47件	173日	34件

イ 講座実績

- ・自主事業による講座
 - 5月 母の日フラワーアレンジメント講習会
 - 6月 父の日うちわ&風鈴づくり講習会
 - 8月 多肉植物寄せ植え講習会
 - 10月 ハロウィンフラワーアレンジメント講習会
 - 12月 キャンドルアレンジメント講習会
- ・東京都葬祭業協同組合との連携による講座
 - 10月 葬儀講座・落語会

ウ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務（害虫駆除含む） ・消防設備等保守
- ・警備業務 ・音響設備保守 等

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	15,927,200円	人件費	9,359,862円
利用料金	10,851,000円	維持管理費	13,066,424円
その他(自動販売機売上収入)	59,956円	運営費	4,339,532円
合計 (①)	26,838,156円	合計 (②)	26,765,818円
収支差額 (①-②)	72,338円		

【参考】平成29年度指定管理料 15,938,240円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>30年度</p> <p>地域に根差した葬儀サービスや利用者目線での葬儀のあり方を正しく解りやすく知って頂く事を目的とした葬儀講座及び相談会を10月に開催した（東京都葬祭業協同組合との連携講座）。</p> <p>また、地域住民の交流を図る目的として自主事業イベント（フラワーアレンジの講習会）を昨年度より2回開催数を増やし、計5回実施した。実施したすべての講習会で顧客満足度100%と最高の実績を上げ、会館の知名度向上に大きく貢献した。葬儀以外の利用窓口を増やすことは、新しい顧客層拡大に繋がっている。</p> <p>さらに、施設を適切に管理運営する方法として、安心・安全への保安管理体制強化を目的とした業務マニュアル、各種安全マニュアル（ヒヤリハット）を機会あるごとに見直し、スタッフ教育の徹底を行うことでより質の高いサービスを実施し、一人一人に対応したきめ細かなサービスを図ることができた。</p>	<p>収入全体は、計画に対し74%の実績と厳しい結果となった。葬儀件数は91件と前年より16件減り利用件数を大幅に落とした結果となった。遺体保管用冷蔵庫の利用件数は、51件、計画75件に対し68.0%と大幅に下回り、利用日数も248日で前年対比73.2%と減少になった。</p> <p>一方、1件当たりの平均利用日数は、4.86日と過去5年間でトップの実績である。これは、28年度に導入したご遺体用のトレーによる効果と考えられる。</p> <p>会議・法要件数は32件（3件法要件含む）、計画40件に対し80.0%の実績である。前年度対比は、5件減の86.5%で件数は減少している。</p> <p>支出は、計画に対し98%と2%削減できた。各経費のきめ細かな削減努力が積み重なった結果である。</p> <p>利用件数が減少する中、収支は、計画達成率2%と大きく落し、72千円の黒字を保った結果であった。</p> <p>収支結果の要因は、葬儀の10月利用件数が1件と過去最低の実績であったことが影響した。今後、葬儀利用者への対応を新たな視点で模索し、利用促進できるように取り組んでいきたい。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

<p>30年度</p>	<p>主たる利用者である葬祭業者との意見交換を積極的に行い、要望に沿った事業運営を行っている。</p> <p>葬儀市場全体における規模の縮小化・利用件数の減少傾向の影響をうけ、利用実績が減る中、収支を黒字に保ったことは、電力会社の変更など、日々経費削減に取り組んでいる結果の表れとして評価できる。施設管理においても計画的な点検・修繕を行っており、平成30年度には防犯カメラの増設工事を行い、利用者がさらに安心して利用できる施設となった。</p> <p>また東京都葬祭業協同組合と連携した区民葬儀説明会の開催や自主事業イベントの開催回数を増やすなど、会館の認知度向上・利用促進にも積極的に取り組んでいる。指定管理3年目を迎え、万世会館を取り巻く状況が変化するなかで、今後もさらなる利用者サービスの向上を期待する。</p>
-------------	---